

弘前大学学報



「弘大カフェ」オープン

第 147 号
平成28年6月号

目 次

学内ニュース

- 弘前大学ボランティアセンター「平成28年度第1回市民ボランティア講座」を開催 ----- 1
- 最先端医工学連携セミナーを開催 ----- 2
- 在札幌中国総領事館総領事 弘前大学を訪問 ----- 3
- 平川市との包括連携協定を締結 ----- 4
- 弘大カフェオープン ----- 5
- 平成28年度 弘前大学学生ボランティア活動助成団体採択書交付式を実施 ----- 7
- 平成28年度弘前大学起業家塾（第1回目）を開催 ----- 8
- 「第1回ライブラリカフェ」を開催 ----- 9
- ウズベキスタンからの一行が学長を表敬訪問 ----- 10
- 青森COC+推進機構会議・推進機構総会を開催 ----- 11

諸 会 議 ----- 12

人 事

- 人事異動 ----- 15

主要日誌 ----- 17

学内規則 ----- 18

弘前大学ボランティアセンター
「平成28年度第1回市民ボランティア講座」を開催

平成28年6月1日（水）、弘前大学ボランティアセンターは、平成28年度第1回市民ボランティア講座「熊本地震現地調査 ボランティア活動状況報告」を開催しました。

当センターでは、東日本大震災発生後の平成23年4月11日より、「チーム・オール弘前」として毎月、岩手県野田村でボランティア活動を行っており、市民ボランティア講座を開催することで、より多くの弘前市民や学生がボランティア活動の実状やその重要性を幅広く理解し、ボランティア活動へ積極的に参加してもらうことを目指しています。

同講座では、平成28年4月14日からの熊本地方を震源とした地震による現地の状況、ボランティア活動の状況についての報告が行われ、市民・学生・教職員を合わせて30名が参加しました。大河原隆センター長から開催の挨拶の後、津島 太陽 氏（本学医学部医学科1年）から現地での活動について報告が行われました。報告の中では、活動した経緯や、支援物資の中でボールやシャボン玉等の子どものおもちゃが想像していた以上に被災した方々に喜ばれたエピソード等、現地での様子が伝えられました。

引き続き、渥美公秀氏（大阪大学大学院人間科学研究科教授・NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事長）から「熊本地震活動報告」が行われました。渥美氏は1995年の阪神・淡路大震災から災害ボランティア活動に参加しており、講演では「ただ傍にいて、立ち去らないこと」、制度や物ではなく「被災者中心」の支援をすること、「声なき声に」耳を傾けること、メディア等の「注目が集まらなくても」支援すること、「支援から交流、そして、復興へ」等、活動する上で大切にしていることや、現地での活動、直面した問題点について具体的に述べられました。

質疑応答では、熊本に知り合いがいるという方からの現地の様子を伺う質問や、ペットへのケアや飼い主への支援について等、多くの質問が寄せられました。

閉会の挨拶では、李 永俊 副センター長（人文社会科学部教授）から熊本地震発生後の弘前大学ボランティアセンターの活動について報告があり、一時的な支援だけでなく継続的な支援を検討していきたいこと、「忘れないこと」の重要性について述べられました。



大河原センター長による開催挨拶



講演を行う渥美氏

最先端医工学連携セミナーを開催

平成 28 年 6 月 3 日（金）、弘前大学理工学部 1 号館 4 階 8 番講義室及び医学部附属病院外来診療棟 5 階大会議室において、株式会社 C I C S 代表取締役社長 今堀 良夫 氏（医学博士：脳神経外科）をお招きし、最先端の医工学連携に関するセミナーを 2 部構成で開催しました。

「誰もが人間的尊厳を保ちつつ健やかで快適な生活を送ることのできる社会の実現」と題したこのセミナーでは、昨年度国立がん研究センター（NCC）に実装配備されたホウ素中性子捕獲治療（BNCT）に関する最新情報とこれからの展望を交えつつ、第 1 部では主に BNCT の原理、装置及び経営工学的な内容を、第 2 部では BNCT 治療を施した施術時の効果を中心に講演いただきました。

終了後に実施したアンケートによると、BNCT 治療を受けたいと感じた方がいる一方で、BNCT 治療を不安に感じられる方もおり、その理由として治療経費負担を心配する声が多く挙げられていて、今後の課題が明らかになりました。

セミナーには第 1 部、第 2 部を通じて学内外からのべ 47 名が聴講に訪れ、選択的ながん細胞を死滅させることを可能にした BNCT 治療に対する関心の高さがうかがえました。



第 1 部：理工学部 1 号館にて



第 2 部：医学部附属病院にて

在札幌中国総領事館総領事 弘前大学を訪問

平成 28 年 6 月 9 日(木)、在札幌中国総領事館 孫 振勇 総領事、唐 璞 総領事夫人、金 瀟 領事の 3 名が中国人留学生との交流を目的に弘前大学を訪問しました。

孫総領事は平成 27 年 5 月現職に着任され、弘前大学を訪問するのは今回が初めてのことです。

吉澤 篤 副学長・国際連携本部長と伊藤 成治 副学長・国際教育センター長を表敬訪問した後、中国からの留学生 4 名及び国際教育センター 鹿嶋 彰 准教授と懇談し、弘前大学での留學生活の様子や今後の夢について質問するなど、グローバルに活躍して欲しいと学生たちを激励し、会話が弾んでいました。

その後、弘前大学資料館や北溟寮を訪れ、本学の貴重な資料や改修された寮室を熱心に視察され、今後も中国との友好関係が継続・発展することを期待して大学を後にしました。



右から吉澤国際連携本部長、孫総領事、唐夫人、伊藤国際教育センター長



鹿嶋准教授[㊦]と中国からの留学生らとの記念写真

平川市との包括連携協定を締結

平成28年6月17日（金）に平川市文化センターにて、相互の密接な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、平川市との包括的な連携協定を締結しました。

調印にあたって、長尾平川市長から、平川市地域新エネルギービジョン策定や地方版総合戦略策定など、これまでの本学と平川市との取組が紹介され、「本学が持つ豊富な知識・経験・技術は平川市の施策に活用できる。協定締結を機に、①平川市まちづくり推進事業、②碓ヶ関地域の活用化に関する事業、③未来の担い手発掘・育成・支援事業、④『食ラボひらかわ』の利活用事業の4事業について、熟度を高めるプログラムとしたい」との挨拶がありました。引き続き、佐藤弘前大学学長から、「共同研究の実施や本学育成新品種りんご『紅の夢』のブランド化推進など、これまで平川市から様々な教育・研究機会を与えていただいている。協定締結を機に、重要な取組となる4事業に本学が参加できることは大変喜ばしいことであり、地方国立大学としての役割を果たし、実質的な成果を創出させるように努力する」との挨拶がありました。

締結式には、平川市から古川副市長、柴田教育長、芳賀企画財政部長、齋藤総務部長、松井健康福祉部長、白戸経済部長、工藤碓ヶ関総合支局長、小林教育委員会事務局長が、弘前大学からは大河原理事（社会連携担当）、橋本農学生命科学部長、石塚農学生命科学部・准教授、小山社会連携部長、長谷川農学生命科学部事務長、小田桐社会連携課長、上平研究推進部主任が同席しました。



長尾平川市長㊦と佐藤弘前大学長㊦



関係者で記念撮影

弘大カフェがオープン

弘前大学では、平成28年6月19日（日）に構内に建造されている旧制官立弘前高等学校外国人教師館を活用し、地元のコーヒー店である成田専蔵珈琲店に業務を委託した「弘大カフェ」をオープンしました。同館は、大正時代に建てられた西洋風建造物であり、平成17年に国の登録有形文化財に登録され、平成22年には弘前市趣のある建物に、平成24年に弘前市景観重要建造物に指定されており、以前は本学の貴重史料の展示施設として利用されていました。

オープン初日は、来店者に無料でコーヒーが提供され、庭のオープンテラスでは記念演舞「森の妖精」や、バリスタ集団による抽出パフォーマンス「紅い果実」、同館2階では本学と縁のある太宰治の小説「津軽」の朗読会が開催され、地域住民・学生・本学関係者など約500人が来店する大盛況となりました。

オープニングセレモニーでは、佐藤弘前大学長をはじめ、葛西弘前市長、岡本県議会議員など計38人が出席し、岡本議員のかけ声によりコーヒーで乾杯を行った。また、佐藤学長から「地域と共にあり、社会に開かれた大学として多くの人に訪れてもらいたい」、葛西弘前市長から「文化財を守るだけではなく、弘前の文化発信に有効活用したい」、成田専蔵社長から「大学生は本格的なコーヒーを飲み始める歳である。学生の心に一生残る味をつくりたい」と挨拶がありました。

また、「弘大カフェ」をオープンするにあたり、ロゴマークの一般公募を行い、1位、2位、特別賞と本学学生がデザインしたロゴマークが採用され、オープニングセレモニーにて成田専蔵社長から表彰されました。なお、採用されたロゴマークは弘大カフェの看板やスタンプ、レシートへの印字など有効的に活用していきます。

弘大カフェを訪れた来店者からは、「とてもいい雰囲気だし、また利用したい」「まろやかな味。香りもいい」「これからは授業の合間の空いた時間に利用できるのが嬉しい」と好評を得ました。

今後は、地域住民が大学を訪れる入口、文化・学問の語り場、教職員・学生の憩いの場、弘前市の観光スポット、各種イベント会場などとしての利活用が期待されます。



佐藤学長とロゴマーク受賞者



店外まで列をなす来客者



「岩木山」をモチーフにデザインされた椅子とテーブル



(ロゴマーク 左から1位、2位、特別賞)

平成 28 年度 弘前大学学生ボランティア活動助成団体採択書交付式を実施

学内外でボランティア活動を実施している本学課外活動団体への活動助成費採択書交付式を、6月20日（月）弘前大学創立50周年記念会館2階特別会議室で行いました。

交付式では、佐藤学長から今年度申請のあった8団体の各出席者1人ひとりに活動助成費採択書が手渡され、また各団体出席者から各団体の活動内容の紹介がありました。

佐藤学長から、「大変多くの学生が、多様なボランティア活動に参加していることを喜ばしくまた誇らしく思う。現場での活動にあたっては難しいこともあることと予想されるが、積極的に活動を行っていることを讃えたい。ボランティア活動の本質は、自らのための活動であるとの自覚を忘れないでほしい。『情けは人のためならず』という故事ことわざがある。これは、人に情けをかけるのは、その人のためになるばかりでなく、やがては巡りめぐって自分に返ってくる、人には親切にせよという教えである。是非そのような考え方で今後も活動を進めてほしい。」と学生の今後の活動に対する期待を祈念する言葉が贈られました。

交付式に続いて懇談会を行い、各団体出席者から普段からの悩みや大学に応援して欲しいことなどを中心に、忌憚のない意見交換が行われ、今後の学生ボランティア活動支援体制の充実を図るためのヒントを得ることができました。

団体名	申請代表者名
児童文化研究部 KIDS'	横 関 七 海（教育学部）
僻地教育研究会	五十嵐 美 咲（教育学部）
さくらボランティア	佐 藤 悠（教育学部）
ひまわりサークル	山 本 幸 生（農学生命科学部）
SaBoTen（サボテン）	溝 江 香乃子（教育学部）
環境サークルわどわ	樋 口 大 紀（農学生命科学部）
teens&law	田 村 淳 奈（教育学部）
キャリアサポート研究会	竹 内 楓（人文学部）



平成 28 年度弘前大学起業家塾（第 1 回目）を開催

平成 28 年 6 月 22 日（水）、弘前大学総合教育棟 4 階 406 講義室において、「平成 28 年度第 1 回目となる弘前大学起業家塾」を開催しました。

本起業家塾では、レンタルラボ等のインフラを活用し、学生や研究者を対象に、実際の起業家等による講演及びワークショップを中心とした起業家育成プログラムを実施することで、起業への意識醸成を図り、起業（VB）の促進、研究シーズ等を活用した起業家の育成及びイノベーションの創出を目指します。今年度は、第 1 回目から第 3 回目までは講演及びワークショップ形式での開催となっており、ワークショップでは参加者がグループを組んで演習を行ってまいります。

今回の講演は、株式会社ユグレナインベストメント リアルテックファンド グロースマネージャー 山家 創 講師による『リアルテック』ベンチャーが世界を変える」と題し、理念でもある「地球と人類の課題解決に資する研究開発型ベンチャー」、課題解決・情熱・技術の重要性及び投資先である大学発ベンチャーの事例等について御講演いただきました。

ワークショップでは、みちのく銀行 地域創生部 担当役 小向 耕介 講師による「収支計画策定の基礎」と題し、損益計算書の構造、借入金を返済する原資及び損益分岐点の考え方など、例題を交え収支計画作成のポイントを教授していただきました。

当日は学生、教員、企業関係者など約 50 名が聴講し、講演後も塾生から山家氏、小向氏に多数の質問が寄せられるなど、熱心な意見交換が行われました。



株式会社ユグレナインベストメント 山家 創 講師



みちのく銀行地域創生部担当役 小向 耕介 講師

「第1回ライブラリカフェ」を開催

弘前大学附属図書館では、昨年度開催した「ラウンジトーク」の後継事業として、今年度は「ライブラリカフェ」を開催することとし、その第1回を6月24日に行いました。

第1回は医学研究科 中根明夫 教授による「感染症と社会問題」というテーマで、医学生5名とコーヒーを飲みながら話し合われました。開催場所は、オープンしたばかりの弘大カフェ。旧制官立弘前高等学校外国人教師館という建物（大正時代に建てられた西洋風建造物）で、歴史香る場所で記念すべき第1回を開催されました。

感染症というテーマのため、天然痘からエイズ、インフルエンザまで様々な話題が繰り広げられ、地域包括ケアといった医学生ならではの専門用語も飛び出し、医学生の目線で話し合われました。聴きにいられていた佐藤敬学長からは、多くの人が使っている「高血圧の薬」を例えにした話題が提供され、会場は大いに盛り上がりました。

当日直接見に来られない方のために YouTube Live で生放送したところ、91名の方が視聴されました。なお、編集したものを後日 YouTube で配信予定です。

第2回は7月21日開催予定で、第1回の続きとして同じテーマで行われます。第1回を聴きに来ていた他学部の学生が、今度は出演者として加わり、医学生とは違った目線で話し合いに参加する予定です。

一方通行ではない先生と学生との語り合い。他学部生が加わることによりさらに話し合いの幅が広がり、ライブラリカフェが新たな交流の場となることを期待しています。



医学生5名と中根教授④



会場の様子

ウズベキスタンからの一行が学長を表敬訪問

タシケント州立農業大学、サマルカンド国立農業大学及びミルザエフ果樹栽培研究所（いずれもウズベキスタン共和国）からりんごの栽培技術や理論を学ぶ訪問団一行が、平成28年6月24日（金）に佐藤敬学長を表敬訪問しました。表敬には農学生命科学部の荒川教授が同席しました。

ウズベキスタンは、「りんごのふるさと」といわれる場所で、りんご・ブドウ・モモなどの果樹栽培が盛んな一方で、適切な剪定や摘果が行われないなど、りんご技術が浸透していないのが現状です。

ウズベキスタン共和国の上記3機関と弘前大学・藤崎町が実施団体となり、平成26年度から独立行政法人国際協力機構（JICA）草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業「リンゴ栽培技術の近代化による農家の生計向上事業」が行われています。一行はこの事業の一環として、良質なりんごを生産するための栽培技術の普及、農家の収入向上に向けた研修を受講するために訪れました。

タシケント州立農業大学、サマルカンド国立農業大学の両校から佐藤学長へ交流協定の締結を希望する手紙と、ウズベキスタン帽子（ドッピ）や美しい陶器に盛られたドライフルーツなどが手渡されました。佐藤学長からは、津軽が誇る藍染めのハンカチなどが贈呈されました。

佐藤学長から、今後の両国の良好な関係を発展させるためにも、学生交流及び教員交流を推進することを検討したいとの発言がありました。

6月25日（土）から7月1日（金）まで行われる研修では、摘果・袋掛け実習の他に、ジュース加工場の視察や農学生命科学部教員と意見交換など青森が誇るりんご栽培技術や販売ノウハウなども学ぶ予定です。



ウズベキスタン一行との記念写真
(ウズベキスタン帽子を被る佐藤学長㊦)

青森 COC+推進機構会議・推進機構総会を開催

平成 28 年 6 月 30 日（木）、「青森 COC+推進機構会議」及び「青森 COC+推進機構総会」を弘前市内で開催しました。

青森 COC+推進機構は、平成 27 年度に文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」を統括するために設立された、青森県内の大学・高専計 10 校、青森県、青森市、弘前市、八戸市、むつ市の代表者からなる組織で、弘前大学長が機構長を務めます。

総会に先立って開催された「青森 COC+推進機構会議」には、機構長の佐藤弘前大学長、副機構長の花田青森中央学院大学長と岡田八戸工業高等専門学校長、監事の上泉青森県立保健大学長と大谷八戸学院大学長、吉川 COC+推進コーディネーターの 6 名が出席し、総会に諮る事項についての確認と審議を行いました。

続いて開催された「青森 COC+推進機構総会」には、機構員である各大学長・校長・自治体関係者ら 16 名が出席し、佐藤機構長の挨拶の後、平成 27 年度の実施状況報告、COC+推進コーディネーターからの所感、監事監査報告や、平成 28 年度の計画及び予算説明等がなされ、事業目標達成に向けての取組が十分に実施されていることを確認しました。



会場の様子（中央 佐藤学長）

諸会議

▼役員会

6月6日（月）

審議事項

1. 国立大学法人弘前大学学長室設置規程等の一部改正について
2. 新たな組織評価制度について
3. 創立70周年記念事業について
4. 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）について
5. 中期目標の達成状況報告書（案）について
6. 学部・研究科等の現況調査表（案）について
7. グローバル化推進体制の整備（案）について
8. ポイント制について
9. 国立大学法人弘前大学年俸制適用職員の評定基準の一部改正について
10. 平成27事業年度に決算について
11. 平成29年度概算要求について
12. 平成29年度入学者選抜要項について
13. 平成30年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等について
14. 弘前大学学則等の改正について
15. 弘前大学入学者選抜改革検討委員会規程の制定について
16. 第2期弘前大学男女共同参画推進基本計画の策定について

報告事項

1. 教育研究院の英語表記について
2. COC事業における達成目標の進捗状況について
3. 企画委員会報告について
4. 大学間交流協定の更新について
5. 弘前大学と大連理工大学との学生交流に関する覚書の変更について
6. 学位記授与式及び入学式の実施について
7. 平成27年度監事監査報告について
8. 平成28年度医学部附属病院の経営目標について
9. 附属図書館ライブラリカフェの開催について
10. 附属図書館POPコンテストの実施について

6月20日（月）

審議事項

1. 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について

2. 弘前大学と日本政策金融公庫との連携協力協定の締結について
報告事項

1. 平成28年度のねぶた運行について

▼教育研究評議会

6月14日（火）

審議事項

1. 弘前大学名誉博士候補者の推薦について
2. 平成27事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）について
3. 中期目標の達成状況報告書（案）について
4. 学部・研究科等の現況調査表（案）について
5. グローバル化推進体制の整備（案）について
6. 平成29年度入学者選抜要項について
7. 平成30年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等について
8. 弘前大学学則等の改正について
9. 弘前大学入学者選抜改革検討委員会規程の制定について

報告事項

1. 教員の採用等について
2. 職員の懲戒等について
3. ハラスメントに関する相談件数等について
4. 大学間交流協定の更新について
5. 弘前大学と大連理工大学との学生交流に関する覚書の変更について
6. 創立70周年記念事業について
7. 「弘前大学における英語力向上に向けたプロジェクト」に係る業績評価について
8. 学位記授与式及び入学式の実施について
9. 平成29年度（2017年度）授業日程について
10. 平成28年度「青森ブランド価値創造研究」の公募について
11. 平成28年度弘前大学科研費獲得支援事業の公募について
12. 平成29年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦について
13. 平成28年度弘前大学機関研究（新規分）の公募について
14. 平成28年度弘前大学若手・新任研究者支援事業の公募について
15. 平成28年度弘前大学研究サポートスタッフの派遣決定について
16. 平成28年度研究倫理教育の実施について
17. 弘前大学東京事務所の契約更新について
18. 弘前大学深浦エコサテライトキャンパスの設置について

-
19. 「弘大カフェ」の開設について
 20. 第2期弘前大学男女共同参画推進基本計画の策定について
 21. ヘルシンキ大学ルラリア研究所との学術協定の締結について
 22. 特定非営利活動法人青森県消費者協会との連携に関する協定の締結について
 23. 東奥義塾高等学校との覚書締結について（今井人文社会科学部長）
 24. 附属図書館ライブラリカフェの開催について（
 25. 附属図書館POPコンテストの実施について
 26. 平成27年度卒業・修了者の進路状況について
 27. 委員会等報告
 - (1) 企画委員会報告（6月1日開催分）
 - (2) 教育委員会報告（5月25日開催分）
 - (3) 入学試験委員会報告（5月23日開催分）

▼教育委員会

6月29日（水）

審議事項

1. 弘前大学における履修証明プログラムについて
2. 学生の協力による学修相談・支援サービスについて
3. 弘前大学におけるGPAの現状について
4. 弘前大学における再入学について
5. 教育推進機構の再編に伴い関連するガイドラインの改正について
6. 平成28年度前期授業料免除について

報告事項

1. 平成27年度懲戒処分について
2. 日本学生支援機構奨学生の追加推薦について
3. 中村積善会奨学生の推薦について
4. 平成28年度課外活動団体について
5. 課外活動団体の結成について
6. 100円朝食の提供について
7. その他

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年06月01日		山口 平	助教(医学系(保健科学領域) / 大学院保健学研究科専任担当)

[任期更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
-------	--------	----	------

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年06月01日	助教(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当)	中川 祥	講師(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当) [H35.5.31まで]
H28年06月01日	放射線技師(病院・医技)	森田 竹史	主任診療放射線技師(病院・医技)

[配置換え]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
-------	--------	----	------

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年06月01日	教授(人文社会・教育学系(社会科学領域) / 人文社会科学部専任担当)	森 樹男	副理事 [H30.5.31まで]

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
-------	--------	----	------

[休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年06月01日	事務職員(人社)	成田 裕美	職務復帰
H28年06月03日	看護師(病院・看護)	犬飼 倫実	育児休業開始 [H29.3.31まで]
H28年06月04日	副看護師長(病院・看護)	山田 朋子	育児休業開始 [H29.9.30まで]
H28年06月04日	看護師(病院・看護)	寺田 真琴	育児休業開始 [H29.3.31まで]
H28年06月10日	看護師(病院・看護)	長内 歩	育児休業開始 [H31.4.13まで]
H28年06月11日	看護師(病院・看護)	山本 美穂	育児休業開始 [H29.3.31まで]
H28年06月29日	助産師(病院・看護)	對馬 悠夏	育児休業開始 [H31.3.31まで]

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年06月01日	教諭(教育・特支)	石田 千里	復職
H28年06月01日	副看護師長(病院・看護)	工藤 文子	期間延長 [H28. 8. 31まで]
H28年06月09日	主任(医)	和田 丈稔	休職開始 [H28. 7. 31まで]
H28年06月17日	事務職員(医)	石川 直哉	休職開始 [H28. 8. 13まで]
H28年06月22日	教諭(教育・附小)	菊地 純子	休職開始 [H28. 7. 31まで]
H28年06月23日	助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部 附属病院専任担当)	花田 賢二	復職

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年06月30日	事務職員(理工)	木田 祥子	任期満了
H28年06月30日	准教授(医学系(臨床医学領域) / 医学部 附属病院専任担当)	須貝 道博	辞職
H28年06月30日	講師(医学系(臨床医学領域) / 大学院 医学研究科専任担当)	谷口 哲	辞職
H28年06月30日	助手(医学系(臨床医学領域) / 医学部 附属病院専任担当)	田名部 玲子	辞職
H28年06月30日	看護師(病院・看護)	丹野 紗希	辞職

主要日誌

- 6月 1日 弘前大学ボランティアセンター「平成28年度第1回市民ボランティア講座」
- 3日 最先端医工学連携セミナー
- 6日 第459回役員会
 - 〃 経営協議会
- 14日 企画戦略会議
 - 〃 教育研究評議会
- 17日 平川市との包括連携協定締結
- 19日 弘大カフェオープン
- 20日 平成28年度弘前大学学生ボランティア活動助成団体採択書交付式
 - 〃 第460回役員会
- 21日 事務連絡会議
- 22日 平成28年度第1回弘前大学起業家塾
- 24日 第1回ライブラリカフェ
- 29日 教育委員会
- 30日 青森COC+推進機構会議・推進機構総会

学内規則

(平成28年6月10日改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

(廃止)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程第16条の2に規定する職務付加手当に関する取扱いについて教育推進機構の組織再編及び学生特別支援室の設置に伴う職務付加手当の支給対象者の見直し、平成28年度から推薦入試が廃止されること等の入試制度の変更に伴う入試手当の見直しのため、上記の規程等を一部改正した。

(平成28年6月17日改正)

(一部改正)

○弘前大学学則

○弘前大学大学院学則

学校教育法及び学校教育法施行規則等の改正等に伴い、一定の要件を満たす高等学校等専攻科の修了者に対して、大学の途中年次へ編入学が可能となったほか、国際化を推進していく観点から、大学院の入学資格について、外国の大学等の修了者に係る新たな要件が加えられたため所要の規定整備を図るため、上記の規則を一部改正した。

(平成28年6月17日制定)

(制定)

○弘前大学入学者選抜改革検討委員会規程

高大接続システム改革会議の「最終報告」や国大協の「将来ビジョンに関するアクションプラン」に示されているように、優れた資質・能力を有する多様な入学者の確保のための「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」という「学力の3要素」を多面的総合的に評価する入学者選抜への改革が急務であることから、この改革案を策定する常置委員会として「弘前大学入学者選抜改革検討委員会」を設置するため、上記の規程を制定した。

(平成28年6月22日改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学学長室設置規程ほか20件

学長直轄の組織である学長室について、学長の戦略的な運営を補佐する役割をより明確にするため、「学長室」を「学長戦略室」に変更するとともに、室長に係る事項について改正するため、上記の規程等を一部改正した。

弘前大学学報第147号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111